

音響／音声分析システム仕様書

- 1、音響・音声入力に必要なオーディオカード（最大サンプルレート：200kHz）内蔵のデスクトップPCと入力4チャンネルまで対応したハードウェアを有すること。
- 2、LPC(線形予測符号化)、FFT(高速フーリエ変換)、スペクトログラム、ピッチ抽出、エネルギー抽出、ケプストラム、フォルマント軌跡の分析が可能であること。
- 3、波形編集、時間編集、振幅編集が可能であること。
- 4、FFT（高速フーリエ変換）分析に基づいた、サウンドスペクトログラムのリアルタイム表示が可能なこと。
- 5、任意で作成したマクロプログラムによる自動実行が可能であること。